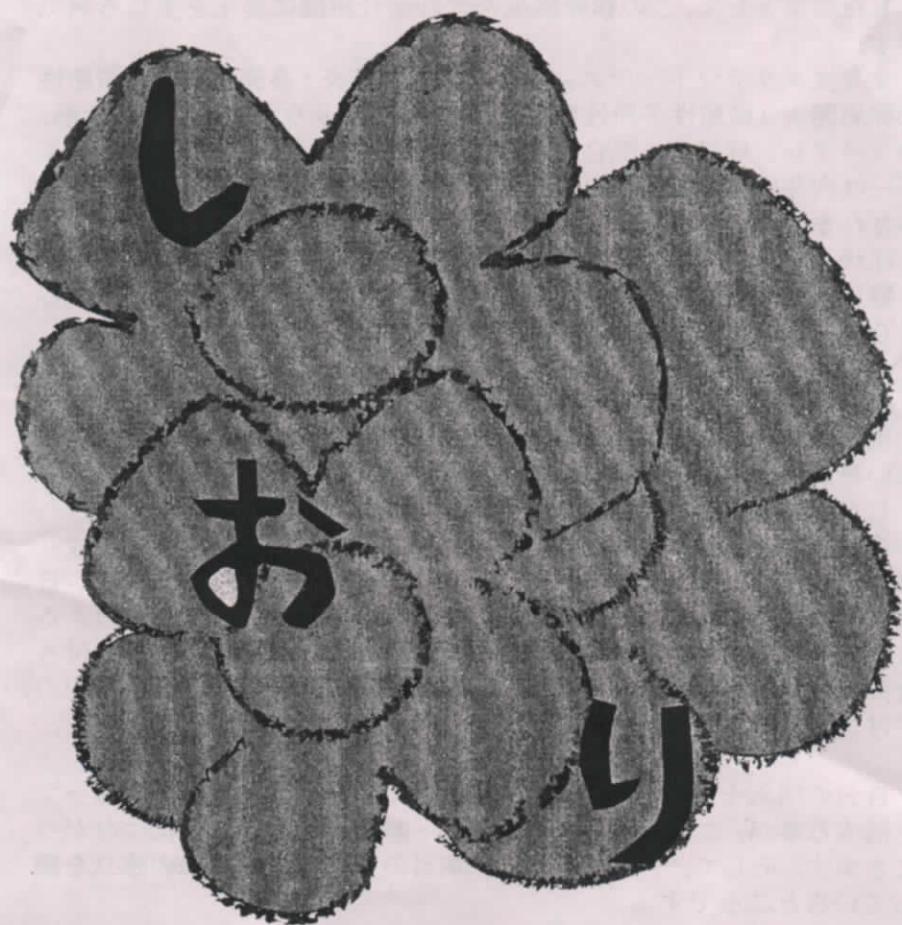


---

全国膠原病友の会  
宮城県支部

---



## 膠原病とは

人間の身体の中には、皮膚、筋肉、骨、内臓などの組織を結びつける役割をしている結合組織という支持組織があり、その中に膠原繊維というものがあります。(膠原病)とは、免疫の異常により炎症をきたした結果として、この膠原繊維を含む結合組織に変化を生じる病気です。

全身性エリテマトーデス、強皮症、皮膚筋炎・多発性筋炎、結節性動脈周囲炎(結節性多発性動脈炎)、慢性関節リウマチ、リウマチ熱、シェーグレン症候群、混合性結合組織病、ウェゲナー肉芽腫、アレルギー性肉芽腫性血管炎、側頭動脈炎、大動脈炎症候群等が膠原病と総称されます。

症状としては、発熱・発疹・関節炎・筋炎・内部疾患(特に腎臓や心臓)・脱毛・体重減少等が全身に現れます。発病年齢は20代から40代に多く、しかも9割以上は女性です。

膠原病はその原因が分かっていない事から「原因療法」は無く、すべて現れた症状に対して対応する、「対処療法」です。根本的治療方法がない事が、膠原病が難病と言われる大きな理由なのです。

しかし、最近では診断技術の進歩と治療法の発展により軽症のうちから病気の診断がつくようになりました。そして、病気の原因の成り立ちがいくつか分かってきています。ステロイド剤を上手に使い、日常生活では誘引を避ける事によって、病気を充分コントロールできるようになってきています。高血圧や糖尿病などと同じように長く付き合っていく病気となってきました。主治医を信頼し、明るい生活を心がけましょう。

自分の病気を正しく理解し、日常生活での守るべき事を良く知って生活する事が、これ以上に病気を進行・悪化させないことにつながってきます。そして、一日でも早い、本当の意味での治療法の確立を願っているところです

## 友の会とは

全国膠原病友の会宮城県支部は、昭和58年10月、宮城県、仙台市、ならびに県内の先生方のご支援を得まして結成されました。

平成14年6月に結成20周年記念大会を開催し、結成当初28名だった会員数は現在160名を越えています。

### 《目的》

本県内での地域活動を通じ膠原病に対する知識を高め、膠原病と闘う者同士が明るい闘病生活を送れるように、会員相互の親睦を図り、膠原病の原因究明と治療法の確立並びに、社会的対策の樹立を要請する事を目的として活動しています。

### 《活動》

1. 年1回総会
2. 医療講演会、相談会の開催（無料）
3. 支部会報『希望』（年3回）発行
4. 交流会（年1回）
5. 宮城県難病団体連絡協議会参加活動
6. 本部、他支部との連携
7. 啓蒙活動
8. 電話相談 等

### 《会費》

☆会費は、年間3,600円（事情のある方は免除されます。）

会費には、本部会費も含まれています。

☆賛助会員 一口 1,500円（口数は随意）

本会は会費・補助金並びに寄付金によって運営されています。

## < 手続きの方法 >

- 1 下記事務局まで電話・FAXかハガキにて住所・氏名をお知らせください。入会申込書・振替用紙をお送り致します。  
(ご家族の方でも結構ですので、遠慮なく事務局まで連絡下さい)
- 2 送られた入会申込書は宮城県支部事務局まで返送していただき、会費は振込用紙にて3,600円を郵便局でお支払いください。
- 3 会費納入確認後、資料などお送りいたします。

## < 連絡先 >

---

全国膠原病友の会宮城県支部事務局

〒981-0942

仙台市青葉区貝ヶ森3丁目12-3 (林方)

TEL 022-277-1021

---

郵便振込口座

02290-5-8815

全国膠原病友の会宮城県支部